

Qちゃん
市内に住む小学生



キュー Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー

つぼくら先生
相馬中央病院医師
福島医大主任教授



外部被ばく線量測定はまだ必要？

Qちゃん 先生、D-シャトルって、個人の外部被ばく線量を測る機械だよね？去年の測定結果はどうだったの？

つぼくら先生 令和3年度は393人の方が外部被ばく線量を測ったんだけど、測定者全員の年間追加被ばく線量が0.4mSvより低いという測定結果になったよ。国が定めた目標値の年間追加被ばく線量が1.0mSvであることを考えると、健康に影響を及ぼすレベルではないことは明白だね。

Qちゃん そうなんだ。僕も家族で毎年測定しているけど、高い線量が出たことはなかったと思うなあ。もう相馬市が安全なのはよく知っているし、今年は申し込まなくても大丈夫だね？

つぼくら先生 確かに相馬市内の放射線量が震災前と同じ水準にまで下がっていることや、被ばくする心配がほとんど無いことは事実だけど、福島県の現状に対して誤解している人たちがいるのもまた事実なんだ。

去年ある企業が東京に住んでいる人たちを対象に行ったアンケートがあるんだけど、「福島県の方々にがんの発症など後年に生じる健康障害および次世代以降の人への健康影響がどのくらい起こると思うか」という質問に対して、どちらも約4割の人が「可能性が高い」と回答しているんだ。こんなことは、今までの放射線量からは全くありえない話なんだけど、まだ誤解している人たちがいるんだよ。

こういった誤解を無くして、相馬市や福島県は安全だということを確認するために、D-シャトルでの外部被ばく線量測定は継続しているんだ。だから、Qちゃんも引き続き申し込んでほしいな。

Qちゃん 県内と県外では放射線に対する捉え方が違うんだね。今年もしっかり申し込むよ。



出典：福島県の復興状況や放射線の健康影響に対する東京都民の意識や関心・理解などに着目したアンケート調査（株式会社三菱総合研究所）

今回Qちゃんが分かったこと

- ▽令和3年度の外部被ばく線量測定の結果、健康に影響を与えるレベルの線量は測定されなかったこと。
- ▽相馬市や福島県の状況を確認するために、外部被ばく線量測定を継続して行うことが大事だということ。

ふくしま復興ステーション



●問い合わせ先 放射能対策室（☎ 37-2270）

●問い合わせ先 放射能対策室（☎ 37 2 2 7 0）

ホームページはこちらから



◎これまでの食品の検査結果（市ホームページ）

ホームページはこちらから



※最新の情報は、県農林水産物・加工食品モニタリング情報ホームページ内の「出荷制限等一覧」で確認ください。

- 4月分 ▽測定件数 2件
- ▽基準値を超えた食品 1件（内訳・ハチミツ 1件）
- 相馬市で出荷制限などを受けている食品（5月1日現在）
- ▽クサソテツ（コゴミ）▽タケノコ▽フキノトウ（野生）▽ゼンマイ▽タラノメ（野生）▽原木シイタケ（露地）▽原木ナメコ（露地）▽キノコ（野生）▽コシアブラ▽ウド（野生）▽クロソイ

自家消費野菜などの放射線物質測定結果